

2011年度

科目名	日本文学史VI		
担当教員	足立 匡敏		
配当	日文2	コード	52036
開期	後期	講時	金曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	近現代の短歌と詩の歴史		
目的と概要	<p>明治から現代までの短歌と詩を味わいながら、その歴史を学びます。</p> <p>毎回、作品を取り上げ、その作品のどこが新しいのかを具体的に議論します。文学史年表に載る作品は、本当に重要な作品なのでしょうか。もっと他に重要な作品はないのでしょうか。皆で考えながら、新しい文学史を切り開いてゆければと思っています。</p>		
成績評価法	授業時に課す小課題(60%)、試験(40%)		
テキスト	プリントを配布します。		
参考書	授業中のプリントの中で適宜紹介します。		
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	授業では、ほぼ毎回、意見や感想を書いてもらいます。言葉に即して作品を解釈し、自分の考えをまとめてください。授業中に、言葉の意味が分かりにくかった短歌や詩については、次回の授業までに、辞書を引くなどして、理解しておくこと。		
講義計画			
<p>短歌の歴史</p> <p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2回 近代短歌の黎明期 ー『開化新題和歌集』</p> <p>第3回 短歌革新運動 ー与謝野鉄幹、正岡子規</p> <p>第4回 明治・大正期の短歌の諸相(1) 恋をうたう ー与謝野晶子</p> <p>第5回 明治・大正期の短歌の諸相(2) 写生 ー正岡子規</p> <p>第7回 明治・大正期の短歌の諸相(3) 連作 ー齋藤茂吉</p> <p>第6回 明治・大正期の短歌の諸相(4) 生活をうたう ー窪田空穂</p> <p>第7回 明治・大正期の短歌のまとめ(1)</p> <p>第8回 明治・大正期の短歌のまとめ(2)</p> <p>第9回 前衛短歌 ー塚本邦雄</p> <p>第10回 現代の短歌 ー俵万智、穂村弘</p> <p>詩の歴史</p> <p>第11回 明治・大正の詩(1)</p> <p>第12回 明治・大正の詩(2)</p> <p>第13回 昭和・現代の詩(3)</p> <p>第14回 まとめ(1)</p> <p>第15回 まとめ(2)</p>			